2020年度 後学期

富山大学オープンクラス

受講生
募集



令和２年度後学期授業日程

キャンパス	五福キャンパス 高岡キャンパス		杉谷キャンパス
	クォーター制※	セメスター制※	セメスター制※
授　　業	10月2日(金)～11月20日(金) 12月1日(火)～1月29日(金) ＊一部日程が異なる科目があります。「オープン・クラス授業科目一覧」を参照ください。	10月2日(金)～1月29日(金) ＊一部日程が異なる科目があります。「オープン・クラス授業科目一覧」を参照ください。	
冬季休業	12月25日(金)～1月4日(月)		
補　　講	11月24日(火)～11月30日(月) 2月1日(月)～2月８日(月)	2月1日(月)~2月8日(月)	2月1日(月)~2月15日(月)
	＊科目によって異なる場合があります。担当教員の指示に従ってください。		
注　　意	＊1月15日(金)は大学入学共通テスト準備のため休講とします。		
	＊11月6日(水)は火曜日の授業を行います。 ＊1月5日(火)、1月13日(水)は月曜日の授業を行います。 ＊1月14日(木)は金曜日の授業を行います。		

※　セメスター制　　２学期制（前期・後期とし、各期終了後、補講、試験を行う。）
※　クォーター制　　４学期制（期間を４つに分け、各期間の間に授業・補講、試験を行う。）

授　業　時　間

時限	１　限	２　限	３　限	４　限	５　限	夜１限 （６限）	夜２限 （７限）
時間	８：４５ ～ １０：１５	１０：３０ ～ １２：００	１３：００ ～ １４：３０	１４：４５ ～ １６：１５	１６：３０ ～ １８：００	１８：１０ ～ １９：４０	１９：５０ ～ ２１：２０

富山大学のオープン・クラスについて

富山大学では、本学の授業を「オープン・クラス」と称して公開し、学生とともに教室で受講していただく市民一般の方々を募集します。

これは、本学が行う大学開放活動の一環で、大学院、各学部及び教養教育（以下「学部等」という。）が開設している授業を公開し、生涯学習に対する社会的要請に応えるとともに、地域社会と大学との連携をさらに深めようとするものです。

この機会に、ぜひ本学の学生・教職員と一緒にキャンパスライフをご体験ください。

「オープン・クラス」の受講に当たっては、受講生（注１）として登録していただく必要があります。受講手続については、各キャンパスで異なりますのでご注意ください。

また、授業はあくまでも本学の学生を対象にしたものであるため、授業内容がご希望に沿うものであるかどうかを試聴期間中に充分ご検討されたうえで、ご登録ください。

※なお、新型コロナウイルス感染症の状況によりましては、インターネットを活用した遠隔授業に変更する場合があります。予めご了承ください。

（注１）「オープン・クラス」の受講生には単位認定を行いませんので、予めご了承ください。

富山大学地域連携推進機構　生涯学習部門

目　　次

富山大学のオープン・クラスについて

五福キャンパス

Ⅰ　実施形態…… 4
Ⅱ　受講手続…… 5
Ⅲ　受講に際して…… 6
Ⅳ　その他…… 7
オープン・クラス授業科目一覧
〇教養教育（五福）…… 8
〇専門科目
・人文学部 …… 9
・人間発達科学部 ……11
・経済学部 ……13
・理学部 ……14
・工学部 ……16
・都市デザイン学部 ……19
〇大学院（ハイ・グレード・オープン・クラス（ＨＧＯＣ））
・人間発達科学研究科 ……21
・経済学研究科 ……22
・理工学教育部（理学領域）……23
・理工学教育部（工学領域）……24

高岡キャンパス

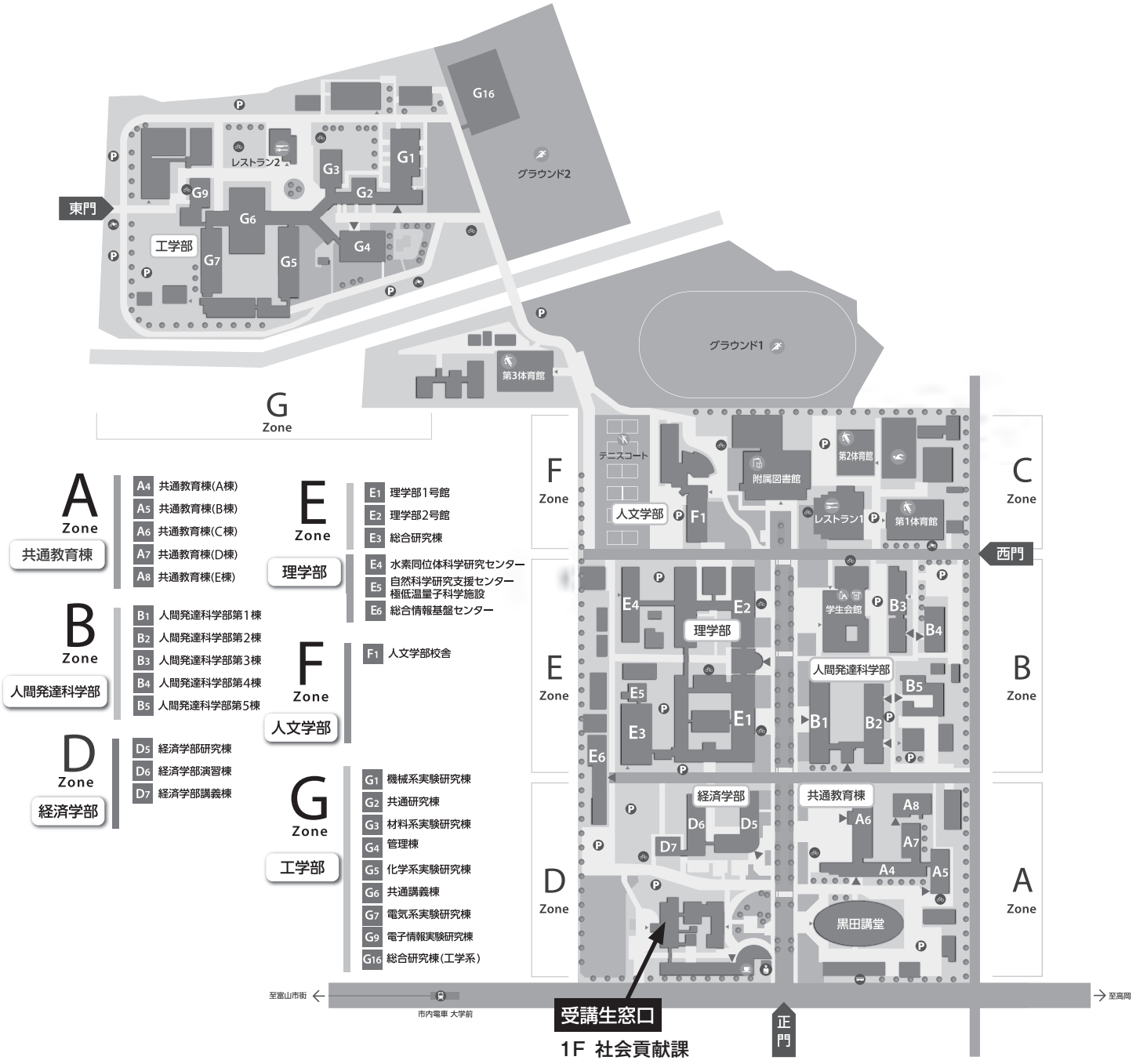
Ⅰ　実施形態……28
Ⅱ　受講手続……29
Ⅲ　受講に際して……30
Ⅳ　その他……31
オープン・クラス授業科目一覧
〇専門科目
・芸術文化学部 ……32
〇大学院（ハイ・グレード・オープン・クラス（ＨＧＯＣ））
・芸術文化学研究科 ……33

杉谷キャンパス

Ⅰ　実施形態……36
Ⅱ　受講手続……37
Ⅲ　受講に際して……38
Ⅳ　その他……39
オープン・クラス授業科目一覧
〇大学院（ハイ・グレード・オープン・クラス（ＨＧＯＣ））
・医学薬学教育部（薬学領域）……40

受講希望調書 ……41

五福キャンパス



<五福キャンパス受講生窓口>

富山大学　研究振興部　社会貢献課

〒 930-8555　富山市五福 3190

TEL　076－445－6956　FAX　076－445－6033

月曜日から金曜日の 8：30 から 17:15 まで受け付けています。（祝日を除く）

Ⅰ　実　施　形　態

（公開授業科目）

1　公開する授業科目は、「オープン・クラス授業科目一覧」（P 8 ～ P24 参照）に記載のとおりです。

オープン・クラス授業科目一覧中の難易度は、授業の内容に応じて、次の四段階に区分していますので、参考にしてください。

難易度の目安

A　入門的な内容であり、高等学校卒業程度の学力を必要とするもの（大学１年次生対象の授業）

B　より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの（大学２～３年次生対象の授業）

C　高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの（大学３～４年次生対象の授業）

D　高度の専門性を要する内容であり、大学卒業程度の学力を必要とするもの（大学院生対象（ハイ・グレード・オープン・クラス（HGOC））※の授業）

授業内容の紹介（シラバス）は、本学ホームページの「Web シラバス（授業案内）」（http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/）に掲載されておりますのでご覧ください（トップページから「キャンパスライフ」あるいは「在学生・教職員」のメニューをクリックしてください）。五福キャンパス受講生窓口においてもシラバスの閲覧ができます。

また、授業はあくまでも本学の学生を対象にしたものであり、受講生のために特別開設されたものではないことを予めご了承ください。

※ハイ・グレード・オープン・クラス（HGOC）について

内容的にも、より高度で専門的な本学の授業科目を受講してみたいという方のニーズに応えるため、大学院（修士又は博士前期課程）の授業科目を、ハイ・グレード・オープン・クラス（HGOC）として引き続き公開します。あらためて大学で、より高度で専門的な内容を学びたい（あるいは「学び直し」したい）とお考えの方は、是非受講してみてください。

受講手続や受講料は、学部等の教養教育や専門科目との違いはありません。

（募集定員）

2　募集定員は、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載のとおりです。

「オープン・クラス授業科目一覧」に記載の募集定員を超えた場合や、学生の受講数が多かった場合には受講できないことがあります。

また、学生の履修者がいなかった場合は、オープン･クラスとしても開講されませんので、予めご了承ください。

（開講期間）

3　**令和２年 10 月２日（金）～令和３年１月 29 日（金）**

（一部、開講期間が異なる科目があります。その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。）

授業日程については、予め決まっている休講日及び曜日を変更して実施する授業等があります。詳細は、必ず、表紙裏の「令和２年度後学期授業日程」でご確認ください。

（試聴授業）

4　試聴期間中の授業は試聴授業として扱います。

（修了証書）

5　オープン・クラスの受講生には、単位認定を行いませんので、予めご了承ください。また、学期末の試験等は課しません。

全授業回数の 2/3 以上受講された方には、修了証書を発行いたします。修了証書を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

（県民カレッジの単位認定）

6　オープン・クラスは、県民カレッジ（富山県民生涯学習カレッジ）との連携講座です。全授業回数の 2/3 以上受講された方には、希望により、時間数に応じて（１時間を１単位とし、５単位刻みで認定）県民カレッジの単位が認定されます。単位認定を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

Ⅱ　受　講　手　続

（受講希望調書受付期間）

1　**令和２年９月１日（火）～９月 11 日（金）**

受付期間終了後の受付はできません。受付期間をご確認の上、遅れることのないよう提出してください。

（受講希望調書の提出）

2　本要項の巻末に添付してある「受講希望調書」に必要事項を記入のうえ、下記五福キャンパス受講生窓口に持参、あるいは郵送、FAX、E メールのいずれかでお申し込みください。持参・郵送・FAX・E メールともに、受付期間最終日必着とします。

ただし、E メールでお申し込みされる場合は、①郵便番号・住所、②氏名（フリガナ）、③電話番号、④性別、⑤年齢、⑥学部名等、⑦番号・授業科目、⑧担当教員、⑨授業曜日・時限、⑩授業でのパソコン使用の有無を記入のうえ、必ずメールの題名（Subject）に「オープン・クラス（授業科目名）受講希望」と書いて送信してください。添付ファイルでのお申し込みはご遠慮ください。

富山大学　研究振興部　社会貢献課
〒 930-8555　富山市五福 3190
TEL　076 － 445 － 6956　FAX　076 － 445 － 6033
Eメール　lifelong@ctg.u-toyama.ac.jp
月曜日から金曜日の８:30 から 17:15 まで受け付けています。（祝日を除く）

3　「受講希望調書」を提出された方には、「受講届」用紙及び「リボン」をお渡しします。このリボンは、試聴時に付けていただきますので、紛失されないようご注意ください。

（受講の試聴期間）

4　**令和２年 10 月２日（金）～ 10 月 15 日（木）**

受講生が授業の概要を確認し、受講する科目を決定していただくため、「試聴期間」を設けます。この期間中に受講科目を確定していただき、受講科目の登録を行ってください。試聴期間中に受講科目を追加・変更することはできません。

また、授業担当教員の都合により休講となる場合もありますので、掲示にご注意ください。

（受講科目の登録）

5　受講する科目を決められた方は、「受講届」に授業科目名等を記入し、**試聴期間中に授業担当教員に提示し、確認のサイン等を受け、五福キャンパス受講生窓口にご提出ください。**

五福キャンパス受講生窓口では、「受講届」を確認の上、受講登録を行います。

受講登録の際に必要となる書類等は次のとおりです。

・受講届
・受講料
・運転免許証、保険証等の身分を証明できる書類等

なお、登録手続は試聴期間中に完了していただくようお願いいたします。

授業に関する疑問・質問等がある場合は、確認のサイン等を受ける前に担当教員に照会してください。

（受講料の納付等）

6　受講登録時に、五福キャンパス受講生窓口で受講料を納付してください。受講料は本学が定める公開授業受講料により徴収させていただきます。

１授業科目　　9,400 円 （税込）（大学院（HGOC）も受講料は同額です。）

（一部、受講料が異なる科目があります。その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。）

なお、いったん納入された受講料は、理由のいかんを問わず返還できませんので、予めご了承ください。

受講生が授業で使用するテキスト代及び授業に係るその他費用は、受講生の負担となりますのでシラバス及び担当教員の指示に従って、ご自身でご用意ください。テキストは富山大学生協で取り扱っています。

（受講証の交付）

7　受講料を納付された方には受講証をお渡ししますので、来学の際は携帯されるようお願いいたします。複数の授業科目を受講する場合でも、受講証は１枚のみの発行となります。

Ⅲ　受講に際して

（受講生の義務）

1　受講生は、受講に当たり本学が行う教育及び研究に支障をきたさないよう努めていただくとともに、授業担当教員の指示に従ってください。また、本学構内で勧誘行為等を行うことを禁止いたします。

（受講の停止）

2　受講生が義務に違反し、本学の秩序を乱し、または受講生としてふさわしくない言動があった場合、受講を停止することがあります。

なお、受講停止の場合であっても、既納の受講料は返還できません。

（休・補講、教室変更について）

3　これらの連絡は教員の指示や各学部等掲示板で行います。受講開始後でも、教室等について変更する場合がありますのでご注意ください。

また、**携帯電話やパソコンからも授業の掲示情報を確認できます。詳細は、本要項の最終ページ（裏表紙の裏）を参照ください。**

（受講生の呼び出し等）

4　授業中その他、受講生への連絡や呼び出しには応じかねますので、予めご了承ください。

また、授業中は携帯電話の電源をお切りください。

（図書館の利用）
5　附属図書館は市民一般に開放しています。資料の貸出を希望される場合には、附属図書館のカウンターにて利用手続きを行ってください。

（福利厚生施設の利用）
6　受講生は、売店、食堂等の施設を利用することができます。

（損害賠償）
7　受講生が本学の施設、設備等を破損したときは、届け出てください。その損害を賠償していただくことがあります。

（保険制度）
8　授業内容により、一部保険加入が必須となる科目がありますのでご注意ください。加入手続きは、五福キャンパス受講生窓口で行ってください。

（通学方法）
9　キャンパスは駐車スペースが少ないので、公共交通機関等をご利用ください。また、自転車でお越しの方は、指定の駐輪場に施錠した上で停めてください。これに違反したトラブルや事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、予めご了承ください。

Ⅳ　そ　の　他

1　「オープン・クラス」に関する授業内容等については、学部等においてもお問い合わせできます。

○　教養教育	
学務課　教養教育支援室	TEL 076-445-6031
○　人文学部	
人社系学務課人文学部担当	TEL 076-445-6138
○　人間発達科学部、人間発達科学研究科	
人社系学務課人間発達科学部担当	TEL 076-445-6258
○　経済学部、経済学研究科	
人社系学務課経済学部担当	TEL 076-445-6409
○　理学部、理工学教育部（理学領域）	
理工系学務課理学部担当	TEL 076-445-6547
○　工学部、理工学教育部（工学領域）	
理工系学務課工学部担当	TEL 076-445-6701
○　都市デザイン学部	
理工系学務課都市デザイン学部担当	TEL 076-445-6698

2　授業科目の授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、予めご了承ください。授業開始前には、毎回各学部等の掲示板をご覧ください。

3　受講に際しご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、教員への情報提供及び県民カレッジの単位申請にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

4　【新型コロナウイルス対策】
・教室入口等に設置してあるアルコール消毒液をご使用ください。
・感染防止のためのマスクの着用をお願いします。
・発熱や体調不良の場合は欠席のご配慮をお願いします。

オープン・クラス授業科目一覧

○教養教育

学部等名：教養教育（五福）

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	線形代数Ⅰ－A	瀬　田　　剛	月・2	工35	若干名	A	パソコン（Moodle）使用 又は「Zoom」を用いたオンライン授業を実施する可能性あり。
2	言語表現	佐　山　三千雄	月・4	共C21	若干名	A	オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）を使用します。
3	化学物質の世界	宮　崎　　章	火・1	共D22	若干名	A	パソコン（Moodle）使用 高等学校の「化学基礎」程度の知識があれば望ましいです。 三密回避のため等で、講義室の規模に応じて受講人数を制限する場合には、正規の学生を優先する。
4	東アジア共同体論 －政治・経済・文化－	小柳津　英　知	火・2	共D12	若干名	B	オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）又はZoomを使用します。
5	基礎化学C	鈴　木　正　康	火・3	共C13	若干名	A	オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）又はZoomを使用します。
6	現代社会論	志　賀　文　哉	火・3	共D11	若干名	A	パソコン（Moodle）使用 Zoomも検討中
7	線形代数Ⅰ－A	黒　岡　武　俊	火・4	共D22	若干名	A	パソコン（Moodle）使用 Zoomによるオンライン授業の可能性あり
8	西洋の歴史と社会	南　　祐　三	火・4	共D12	若干名	A	パソコン（Moodle）使用
9	日本海学	和　田　直　也	火・5	共D11	若干名	A	オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）又はZoomを使用します。 指定教科書を購入して受講してください。
10	富山から考える震災復興学	大　坂　　洋	火・5	共A42	若干名	A	パソコン（Moodle）使用
11	地域の経済と社会・文化	大　西　宏　治	水・1	共C12	若干名	A	パソコン（Moodle）使用

※備考欄に「パソコン(Moodle)使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

○専門科目

学部等名：人文学部

＊未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より郵送にて案内を差し上げます。
もし、試聴日までに連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	英語学講読Ⅰb	奥　村　　譲	金・4	未定	3	B	オンライン授業の場合は、パソコン（Moodle）および Zoom を使用します。
2	英語学演習Ⅰb	奥　村　　譲	月・3	未定	3	B	オンライン授業の場合は、パソコン（Moodle）および Zoom を使用します。
3	日本語史と書記	樋　野　幸　男	木・2	未定	3	B	オンライン授業の場合は、パソコン（Moodle）および Zoom を使用します。
4	ドイツ言語文化講読Ⅱ	黒　田　　廉	金・2	未定	2	B	オンライン授業の場合は Zoom を使用します。
5	西洋史概説Ⅱ	南　　祐　三	月・3	未定	5	B	オンライン授業の場合は、パソコン（Moodle）および Zoom を使用します。
6	人間学講読	田畑真美 澤田哲生	木・3	未定	若干名	B	オンライン授業の場合は、パソコン（Moodle）および Zoom を使用します。
7	人間学演習Ⅰc	田　畑　真　美	木・4	未定	若干名	C	オンライン授業の場合は、パソコン（Moodle）および Zoom を使用します。
8	現代と思想	澤　田　哲　生	木・2	未定	3	B	オンライン授業の場合は、パソコン（Moodle）および Zoom を使用します。
9	国際文化概論	小野直子 鈴木信明 青木恭子	火・1	未定	若干名	B	オンライン授業の場合は、パソコン（Moodle）および Zoom を使用します。
10	心理学特殊講義	黒　川　光　流	火・3	未定	3	B	オンライン授業の場合は、パソコン（Moodle）および Zoom を使用します。
11	社会学概論	伊　藤　智　樹	金・3	未定	若干名	A	パソコン（Moodle）使用 ※オンライン授業の場合は Zoom を併用する
12	社会文化特殊講義	藤　本　　武	木・5	未定	若干名	B	パソコン（Moodle）使用 ※オンライン授業の場合は Zoom を併用する
13	アメリカ言語文化演習Ⅰb	大工原　ちなみ	月・2	未定	3	B	オンライン授業の場合は、パソコン（Moodle）および Zoom を使用します。
14	アメリカ言語文化特殊講義b	大工原　ちなみ	火・1	未定	3	B	オンライン授業の場合は、パソコン（Moodle）および Zoom を使用します。
15	英米言語文化演習Ⅱ	大工原　ちなみ	火・2	未定	3	C	オンライン授業の場合は、パソコン（Moodle）および Zoom を使用します。
16	ドイツ語コミュニケーション（会話）Ⅰ（c）	ヴォルフガング　ツォウベク	火・2	未定	2	B	オンライン授業の場合は、パソコン（Moodle）および Zoom を使用します。
17	ドイツ語コミュニケーション（会話）Ⅱ（1）	ヴォルフガング　ツォウベク	火・1	未定	2	C	オンライン授業の場合は、パソコン（Moodle）および Zoom を使用します。
18	ドイツ語コミュニケーション（会話）Ⅰ（d）	ヴォルフガング　ツォウベク	金・3	未定	2	B	オンライン授業の場合は、パソコン（Moodle）および Zoom を使用します。
19	ドイツ語コミュニケーション（会話）Ⅱ（1）	ヴォルフガング　ツォウベク	金・4	未定	2	C	オンライン授業の場合は、パソコン（Moodle）および Zoom を使用します。
20	ドイツ語コミュニケーション（作文）Ⅰ（b）	ヴォルフガング　ツォウベク	水・3	未定	2	B	オンライン授業の場合は、パソコン（Moodle）および Zoom を使用します。
21	ドイツ語コミュニケーション（作文）中級	ヴォルフガング　ツォウベク	水・2	未定	2	C	オンライン授業の場合は、パソコン（Moodle）および Zoom を使用します。
22	ドイツ文化論（a）	宮　内　伸　子	水・1	未定	3	B	オンライン授業の場合は、パソコン（Moodle）および Zoom を使用します。
23	中国文学概論Ⅰb	大　野　圭　介	木・2	未定	若干名	A	パソコン（Moodle）使用
24	中国語学概論（a）	大　野　圭　介	金・3	未定	若干名	A	パソコン（Moodle）使用
25	ロシア言語文化演習Ⅰ	武　田　昭　文	火・3	未定	3	B	オンライン授業の場合は、パソコン（Moodle）および Zoom を使用します。
26	ロシア言語文化講読Ⅱ	武　田　昭　文	火・4	未定	3	C	オンライン授業の場合は、パソコン（Moodle）および Zoom を使用します。
27	ロシア言語文化特殊講義	カザケーヴィチ　マルガリータ	水・4	未定	3	C	オンライン授業の場合は、パソコン（Moodle）および Zoom を使用します。

学部等名：人文学部

＊未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より郵送にて案内を差し上げます。
もし、試聴日までに連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
28	実践ロシア語演習Ⅱ	カザケーヴィチ　マルガリータ	水・2	未定	3	C	オンライン授業の場合は、パソコン（Moodle）および Zoom を使用します。
29	実践ロシア語演習Ⅲ	カザケーヴィチ　マルガリータ	木・2	未定	3	C	オンライン授業の場合は、パソコン（Moodle）および Zoom を使用します。
30	実践ロシア語演習Ⅰ	カザケーヴィチ　マルガリータ	木・3	未定	3	B	オンライン授業の場合は、パソコン（Moodle）および Zoom を使用します。
31	ロシア文化論	カザケーヴィチ　マルガリータ	木・4	未定	3	C	オンライン授業の場合は、パソコン（Moodle）および Zoom を使用します。

※備考欄に「パソコン（Moodle）使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：人間発達科学部

＊未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より郵送にて案内を差し上げます。
もし、試聴日までに連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	学級集団心理学	佐　藤　　徳	火・3	人発 111	3	B	オンライン授業の場合は パソコン（Moodle）使用
2	教育心理学（人間環境）	小　川　　亮	金・3	人間 341	5	A	パソコン（Moodle）使用 （端末室の授業）
3	青年心理学	姜　　信　善	木・4	人間 111	3	B	オンライン授業の場合は パソコン（Moodle）使用
4	発達心理学	姜　　信　善	金・4	人間 112	3	B	オンライン授業の場合は パソコン（Moodle）使用
5	心理学研究法	小　川　　亮	金・5	人間端末室	1	B	パソコン（Moodle）使用 （端末室の授業）
6	コミュニティ心理学	近　藤　龍　彰	水・1	未定	3	C	パソコン（Moodle）使用
7	学校文化論	増　田　美　奈	水・1	人間 113	2	B	オンライン授業の場合は パソコン（Moodle）使用
8	地域交流活動論	隅　　敦	木・2	人間 331	10	A	オンライン授業の場合は パソコン（Moodle）使用
9	幼児教育・保育課程論	若　山　育　代	金・3	人間 113	3	C	オンライン授業の場合は パソコン（Moodle）使用
10	社会福祉概論Ⅰ	志　賀　文　哉	金・1	人間 141	5	A	オンライン授業の場合は パソコン（Moodle）使用
11	知的障害児の生理・病理Ⅰ	宮　　一　志	月・3	人間 114	10	B	オンライン授業の場合は パソコン（Moodle）使用
12	病弱児の心理・生理・病理	宮　　一　志	木・3	人間 113	10	B	オンライン授業の場合は パソコン（Moodle）使用
13	就労支援論	志　賀　文　哉	木・3	人間 116	3	B	7,300 円 オンライン授業の場合は パソコン（Moodle）使用
14	司法福祉論	小　林　　真	木・4	人間 114	3	B	7,300 円 オンライン授業の場合は パソコン（Moodle）使用
15	保育原理	西　館　有　沙	木・4	人間 117	5	A	オンライン授業の場合は パソコン（Moodle）使用
16	保育者論	若　山　育　代	月・1	人間 111	3	B	オンライン授業の場合は パソコン（Moodle）使用
17	軽度発達障害児教育総論	水　内　豊　和	火・2	人間 112	3	B	オンライン授業の場合は パソコン（Moodle）使用
18	児童福祉論	西　館　有　沙	火・4	人間 141	5	A	オンライン授業の場合は パソコン（Moodle）使用
19	特別支援教育概論（発達教育）	宮　　一　志 水　内　豊　和 和　田　充　紀	水・3	人間 341	10	A	パソコン（Moodle）使用
20	地域と健康	布　村　忠　弘	火・5	人間 331	10	B	オンライン授業の場合は パソコン（Moodle）使用
21	スポーツ史	大　川　信　行	水・1	人間 331	3	B	オンライン授業の場合は パソコン（Moodle）使用
22	学校と健康	布　村　忠　弘	木・4	人間 311	10	B	オンライン授業の場合は パソコン（Moodle）使用
23	スポーツ指導論	佐　伯　聡　史	金・3	人間 311	5	B	オンライン授業の場合は パソコン（Moodle）使用
24	スポーツ運動学	佐　伯　聡　史	火・3	人間 311	5	B	オンライン授業の場合は パソコン（Moodle）使用
25	スポーツ動作分析法	堀　田　朋　基	火・4	人間 311	5	B	オンライン授業の場合は パソコン（Moodle）使用
26	解剖学	布　村　忠　弘	木・1	人間 311	5	A	オンライン授業の場合は パソコン（Moodle）使用
27	運動生理学	堀　田　朋　基	木・5	人間 311	5	B	オンライン授業の場合は パソコン（Moodle）使用

学部等名：人間発達科学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
28	化学物質の機能と環境	片　岡　　弘	火・2	人間 化学実験室	5	A	パソコン（Moodle）使用
29	人間安全保障論	池　田　丈　佑	木・2	人間 113	3	B	パソコン（Moodle）使用
30	比較地域論	山　根　　拓	月・3	人間 111	5	B	オンライン授業の場合は パソコン（Moodle）使用
31	基礎地域史	中　村　只　吾	火・2	人間 141	5	B	オンライン授業の場合は パソコン（Moodle）使用
32	科学ジャーナリズム論	林　　衛	木・1	人間 2301	3	B	オンライン授業の場合は パソコン（Moodle）使用
33	地球市民社会論	池　田　丈　佑	水・2	人間 331	3	B	パソコン（Moodle）使用
34	基礎生物学	安　本　史　恵	火・3	人間 2301	3	B	オンライン授業の場合は パソコン（Moodle）使用
35	メディア芸術論	鼓　　みどり	火・3	人間 342	3	B	オンライン授業の場合は パソコン（Moodle）使用
36	線形システム概論	石　川　秀　明	金・5	人間 332	3	B	オンライン授業の場合は パソコン（Moodle）使用
37	ことばとコミュニケーション	宮　城　　信	火・5	人間 341	5	A	オンライン授業の場合は パソコン（Moodle）使用

※備考欄に「パソコン（Moodle）使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：経済学部

＊未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より郵送にて案内を差し上げます。もし、試聴日までに連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
1	経営学と経済学で出る数学	白石俊輔	月・1	未定	3	A	オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
2	政治経済学	大坂洋	月・2 木・2	未定	5	B	パソコン（Moodle）使用 13,500円
3	比較経営論	森岡裕	月・3 水・1	未定	3	B	13,500円 オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
4	ミクロ経済学Ⅱ	堂谷昌孝	月・4 木・4	未定	3	B	13,500円 オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
5	環境法	神山智美	月・6、7	未定	5	A	13,500円 オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
6	マクロ経済学Ⅰ	本山卓実	月・6、7	未定	5	B	パソコン（Moodle）使用 13,500円
7	産業経済学	山本雅資	火・1	未定	3	C	パソコン（Moodle）使用
8	債権法Ⅱ（各論）	橋口賢一	火・1 金・3	未定	3	B	13,500円 オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
9	地域経済論	小柳津英知	火・3 木・1	未定	3	B	13,500円 オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
10	財政学	小寺剛	火・3 木・1	未定	5	B	13,500円 オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
11	刑事訴訟法	八百章嘉	火・3 木・1	未定	5	B	パソコン（Moodle）使用 13,500円
12	景気循環論	堂谷昌孝	火・4	未定	3	B	オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
13	国際私法	岩本学	火・6	未定	3	C	パソコン（Moodle）使用
14	経営モデル分析	白石俊輔	水・2	未定	3	B	オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
15	証券市場論	本間哲志	水・2	未定	10	B	オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
16	金融論Ⅱ	山田潤司	水・6、7	未定	3	B	パソコン（Moodle）使用 13,500円
17	入門法学Ⅱ B	森嶋秀紀	木・4	未定	3	C	パソコン（Moodle）使用
18	国際取引法	小池未来	木・6、7	未定	3	B	13,500円 オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
19	経済史総論	矢島桂	木・6、7	未定	3	B	パソコン（Moodle）使用 13,500円 授業方法は直前に変更する場合がある。
20	経済学入門	岩田真一郎	金・1	未定	5	A	パソコン（Moodle）使用 Zoomによる遠隔授業になる可能性がある。
21	経済学入門	中村和之	金・1	未定	5	A	パソコン（Moodle）使用 Zoomによる遠隔授業になる可能性がある。
22	社会経済学概論	松山淳	金・1	未定	3	B	オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
23	特殊講義　企業分析論	森口毅彦	金・3	未定	5	B	オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
24	特殊講義　生命保険を考える	大坂洋	金・4	未定	5	A	パソコン（Moodle）使用
25	国際マクロ経済学	金奉吉	金・4	未定	5	C	パソコン（Moodle）使用
26	民事執行法	岩本学	金・4	未定	3	C	パソコン（Moodle）使用
27	経済学入門	大坂洋	金・6	未定	5	C	パソコン（Moodle）使用
28	現代経済入門	小柳津英知	金・7	未定	3	A	オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
29	人的資源管理	馬駿	金・6、7	未定	5	B	13,500円 オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
30	会社法	増田友樹	金・6、7	未定	5	B	パソコン（Moodle）使用 13,500円

※備考欄に「パソコン（Moodle）使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：理学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	解析学Ｂ	上　田　肇　一	木・４	理Ａ４２４	若干名	C	(注１) パソコン（Moodle）使用
2	集合論	古　田　高　士	木・５	共Ｃ１１	若干名	C	(注１) パソコン（Moodle）使用
3	線形代数学Ｂ	川　部　達　哉	金・３	共Ｄ２１	若干名	C	(注１) パソコン（Moodle）使用
4	実解析学Ⅰ	菊　池　万　里	月・３	理Ａ４２４	若干名	C	(注１) パソコン（Moodle）使用
5	解析学Ⅲ	菊　池　万　里	火・４ 金・４	理Ａ４２４	若干名	C	前半（～ 11/27） パソコン（Moodle）使用
6	解析学Ⅳ	藤　田　安　啓	火・４ 金・４	理Ａ４２４	若干名	C	後半（12/1 ～） 解析学Ⅲの内容を修得していること。 パソコン（Moodle）使用
7	微分方程式論Ⅰ	出　口　英　生	火・５	理Ａ４２４	若干名	C	(注１) パソコン（Moodle）使用
8	線形代数学Ⅲ	木　村　　巌	水・１	理Ａ４２４	若干名	C	(注１) パソコン（Moodle）使用
9	プログラミングⅡ	幸　山　直　人	水・５	理Ａ１３５	若干名	C	(注１) パソコン（Moodle）使用 （端末室の授業）
10	複素解析学Ⅰ	菊　池　万　里	木・２	共Ｄ１２	若干名	C	(注１) パソコン（Moodle）使用
11	位相空間論Ⅱ	永　井　節　夫	木・３	理Ａ４２４	若干名	C	(注１) パソコン（Moodle）使用
12	代数学Ⅰ	山　根　宏　之	金・５	理Ａ４２４	若干名	C	(注１) パソコン（Moodle）使用
13	数値解析学	上　田　肇　一	月・２	理Ａ４２４	若干名	C	(注１) パソコン（Moodle）使用
14	代数学Ⅲ	山　根　宏　之	火・１	理Ａ２３８	若干名	C	(注１) パソコン（Moodle）使用
15	幾何学特論Ａ	永　井　節　夫	水・２	理Ａ４２４	若干名	C	(注１) パソコン（Moodle）使用
16	情報数理特論Ａ	山　根　宏　之	木・２	理Ａ４２４	若干名	C	(注１) パソコン（Moodle）使用
17	幾何学Ⅱ	古　田　高　士	木・４	理Ａ３３７	若干名	C	(注１) パソコン（Moodle）使用
18	物理学概論Ⅱ	小　林　かおり	木・２	理多目的	若干名	A	パソコン（Moodle）使用
19	物理学序説Ⅱ	栗　本　　猛	木・２	共Ｃ１３	若干名	A	パソコン（Moodle）使用
20	力学序論	桑　井　智　彦	木・５	理Ａ２３８	若干名	A	パソコン（Moodle）使用
21	物理数学Ａ	栗　本　　猛	金・４	共Ｄ２１	若干名	C	パソコン（Moodle）使用
22	電磁気学Ａ	森　脇　喜　紀	火・２ 金・２	理多目的	若干名	A	(注１) パソコン（Moodle）使用
23	電磁気学Ｂ	森　脇　喜　紀	火・２ 金・２	理多目的	若干名	A	後半（12/1 ～） 電磁気学Ａの内容を修得していること。 パソコン（Moodle）使用
24	熱力学	田　山　　孝	火・４	理多目的	若干名	B	パソコン（Moodle）使用
25	力学Ｃ	柿　崎　　充	木・３	理多目的	5	B	パソコン（Moodle）使用
26	統計力学Ａ	畑　田　圭　介	月・５ 火・３	理Ａ３３７	5	C	前半（～ 11/30） 熱力学の内容、力学、電磁気学、量子力学の初歩的内容を修得していること。 パソコン（Moodle）使用
27	統計力学Ｂ	畑　田　圭　介	月・５ 火・３	理Ａ３３７	5	C	後半（12/1 ～） 熱力学の内容、力学、電磁気学、量子力学の初歩的内容を修得していること。 パソコン（Moodle）使用
28	量子力学Ｃ	柿　崎　　充	火・２	理Ａ３３７	若干名	C	パソコン（Moodle）使用
29	相対性理論	柿　崎　　充	火・５	理Ａ３３７	5	C	パソコン（Moodle）使用

学部等名：理学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
30	原子分子分光学	小　林　かおり	水・２	理Ａ２３８	５	B	量子力学あるいは量子化学の初歩を習得していること。 パソコン（Moodle）使用
31	物性物理学Ｂ	池　本　弘　之	木・２	理Ａ３３７	５	C	パソコン（Moodle）使用
32	化学概論Ⅱ	宮　澤　眞　宏	金・２	共Ｃ１３	５名程度	A	パソコン（Moodle）使用
33	化学概論Ⅱ	林　　直　人	金・２	共Ｃ１１	５名程度	A	パソコン（Moodle）使用
34	化学熱力学Ⅰ	岩　村　宗　高	木・５	共Ｄ２１	５名程度	A	パソコン（Moodle）使用
35	有機化学Ⅱ	林　　直　人	金・４	共Ｄ１２	５名程度	A	パソコン（Moodle）使用
36	有機化学Ⅴ	宮　澤　眞　宏	月・２	理多目的	５名程度	C	パソコン（Moodle）使用
37	有機化学Ⅵ	横　山　　初	木・２	理Ａ２３８	５名程度	B	パソコン（Moodle）使用
38	生物化学Ⅰ	井　川　善　也	金・２	共Ｄ１２	５名程度	B	パソコン（Moodle）使用
39	触媒化学	大　津　英　揮	月・２	理Ａ３３６	５名程度	B	パソコン（Moodle）使用
40	材料科学	田　口　　明	火・２	理Ｃ２０２	５名程度	B	パソコン（Moodle）使用
41	合成有機化学	松　村　茂　祥	木・２	理Ａ４２５	５名程度	C	パソコン（Moodle）使用
42	機器分析化学	林　　直　人　ほか	金・１	理Ａ２３９	若干名	C	パソコン（Moodle）使用
43	溶液化学	鈴　木　　炎	金・２	理Ａ２３９	若干名	C	パソコン（Moodle）使用
44	共生機能科学	土　田　　努	火・５	理多目的	５	B	パソコン（Moodle）使用
45	植物生理学	唐　原　一　郎	水・２	理Ｃ１０５	５	B	パソコン（Moodle）使用
46	発生制御学	若　杉　達　也	火・２	理Ｃ１０４	５	C	パソコン（Moodle）使用
47	環境基礎生物学Ａ	酒　徳　昭　宏	金・４	理Ａ３３６	若干名	B	パソコン（Moodle）使用
48	水環境化学	佐　澤　和　人	金・５	共Ｃ１１	若干名	B	パソコン（Moodle）使用
49	環境化学計測	倉　光　英　樹	火・２	理Ａ４２４	若干名	B	パソコン（Moodle）使用
50	保全生物学	横　畑　泰　志	水・２	理Ａ３３７	若干名	B	パソコン（Moodle）使用
51	植物生態学	和　田　直　也	木・１	理Ａ４２４	若干名	B	パソコン（Moodle）使用
52	生態学	石　井　　博	木・２	理Ａ３３６	若干名	B	パソコン（Moodle）使用
53	古生物学	柏　木　健　司	木・４	理Ａ２３９	若干名	B	パソコン（Moodle）使用
54	生物圏環境科学特別講義 （地方創生環境学）	田　中　大　祐	金・５	理多目的	若干名	A	パソコン（Moodle）使用
55	環境生物学	石　井　　博	金・２	理Ｃ２０３	若干名	B	パソコン（Moodle）使用

（注１）当該授業科目受講のためには、開講時以前の全必修科目を取得しているのと同程度の学力を有することが必要です。受講を決める前に、必ず当該授業科目担当教員とよく相談してください。

※備考欄に「パソコン（Moodle）使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：工学部

番号	授業科目名	担当教員 氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
1	電子物性工学Ⅱ	中　茂　樹	月・1	工25	若干名	B	パソコン（Moodle）使用
2	電気エネルギー工学2	伊　藤　弘　昭	月・2	工25	若干名	B	パソコン（Moodle）使用
3	半導体デバイス1	前　澤　宏　一	月・3	工27	若干名	B	パソコン（Moodle）使用
4	ディジタル電子回路	戸　田　英　樹	月・4	工27	5	B	パソコン（Moodle）使用
5	集積回路工学	岡　田　裕　之	月・4	工25	若干名	B	パソコン（Moodle）使用
6	アナログ電子回路2	中　島　一　樹	火・1	工27	5	B	パソコン（Moodle）使用
7	システム制御工学2	平　田　研　二	火・2	工25	5	B	パソコン（Moodle）使用
8	基礎化学（C）	鈴　木　正　康	火・3	共C 13	5	A	パソコン（Moodle）使用
9	音響工学	安　藤　彰　男	水・1	工25	5	B	パソコン（Moodle）使用
10	電気機器工学1	大　路　貴　久	水・2	工27	5	B	パソコン（Moodle）使用
11	送配電工学2	田　中　和　幸	水・2	工25	5	C	パソコン（Moodle）使用
12	電気回路1	飴　井　賢　治	木・1	工26	5	A	パソコン（Moodle）使用
13	電磁気学1	中　茂　樹	金・1	工26	若干名	B	パソコン（Moodle）使用
14	信号処理工学	荏　戸　立　夫	金・1	工25	5	C	パソコン（Moodle）使用
15	電気数学3	小　出　明	金・2	工26	5	B	パソコン（Moodle）使用
16	光工学	中　茂　樹	金・2	工25	若干名	B	パソコン（Moodle）使用
17	熱・波動	喜久田　寿　郎	金・3	工26	5	A	パソコン（Moodle）使用
18	音情報学	廣　林　茂　樹	月・2	工27	10	B	パソコン（Moodle）使用
19	フーリエ解析	長谷川　英　之	月・3	工26	5	A	パソコン（Moodle）使用
20	情報理論	玉　木　潔	水・1	工28	5	B	パソコン（Moodle）使用
21	データベース論	大　嶋　佑　介	火・2	工第3端末室	若干名	B	パソコン（Moodle）使用（端末室の授業）
22	ブレインコンピューティング	田　端　俊　英	火・4	工23	5	B	パソコン（Moodle）使用
23	データサイエンスⅡ	高　尚　策	水・1	多目的ホール	5	B	パソコン（Moodle）使用
24	マルチメディア工学	唐　政	水・1	工34	10	C	パソコン（Moodle）使用
25	情報セキュリティ	村　山　立　人	水・2	工24	5	C	パソコン（Moodle）使用
26	電子回路Ⅰ	田　端　俊　英	木・2	工28	5	A	パソコン（Moodle）使用
27	微分積分Ⅱ	角　皇　浩	木・4	工28	10	A	パソコン（Moodle）使用
28	通信システム	菊　島　浩　二	木・4	工11	5	B	パソコン（Moodle）使用
29	組込みシステム	片　桐　崇　史	木・4	工22	10	C	パソコン（Moodle）使用
30	プログラミング応用B	佐　藤　周　平	金・1	工28	若干名	B	パソコン（Moodle）使用 プログラミングⅠ相当の知識が必要となります。

学部等名：工学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
31	流体力学	川　口　清　司	火・1	工 26	5	B	パソコン（Moodle）使用
32	要素設計学第２	小　熊　規　泰	火・2	工 26	若干名	C	パソコン（Moodle）使用
33	基礎化学（D）	手　崎　　衆	火・3	共D 21	若干名	A	パソコン（Moodle）使用
34	計測工学演習	寺　林　賢　司	水・2	工 28, ｾﾝﾀｰ2･3F端末室	5	B	パソコン（Moodle）使用 （端末室の授業）
35	基礎流体工学	川　口　清　司	木・1	工 25	若干名	B	パソコン（Moodle）使用
36	精密加工学	白　鳥　智　美	木・2	工 25	若干名	B	パソコン（Moodle）使用
37	線形代数Ⅰ（A）	瀬　田　　剛	木・3	工 35	5	A	パソコン（Moodle）使用
38	基礎熱力学	手　崎　　衆	木・3	工 25	若干名	B	パソコン（Moodle）使用
39	力学	笠　場　孝　一	木・4	工 35	5	A	パソコン（Moodle）使用
40	基礎センサ工学	笹　木　　亮	木・4	センター２・ ３Ｆ端末室	若干名	B	パソコン（Moodle）使用 （端末室の授業）
41	材料力学第２	木　田　勝　之	金・1	工 35	5	B	パソコン（Moodle）使用
42	基礎材料工学	溝　部　浩志郎	金・2	工 35	5	B	パソコン（Moodle）使用
43	シミュレーション工学	ﾀﾁｱﾅﾆｺﾗｴｳﾅ ｿﾛﾂｷﾋﾅ	金・3	工 27, ｾﾝﾀｰ2階端末室	若干名	B	パソコン（Moodle）使用 （端末室の授業）
44	ロボット工学	関　本　昌　紘	金・4	工 27	5	B	パソコン（Moodle）使用
45	細胞生物学	篠　原　寛　明	月・2	工 23	若干名	B	パソコン（Moodle）使用
46	データ解析概論	黒　岡　武　俊	火・2	工第１端末室	若干名	B	パソコン（Moodle）使用 （端末室の授業）
47	薬理学Ⅰ	髙　﨑　一　朗	火・3	工 22	若干名	B	パソコン（Moodle）使用
48	線形代数Ⅰ（A）	黒　岡　武　俊 須　加　　実	火・4	共D 22	5	A	パソコン（Moodle）使用
49	細胞代謝学Ⅰ	佐　山　三千雄	木・1	工 22	10	B	パソコン（Moodle）使用
50	生命物理化学Ⅰ	伊野部　智　由	木・2	工 34	5	B	パソコン（Moodle）使用
51	基礎生理学	中　村　真　人	木・2	工 22	若干名	B	パソコン（Moodle）使用
52	生命無機化学Ⅰ	篠　原　寛　明	木・3	工 34	若干名	A	パソコン（Moodle）使用
53	バイオインダストリー	森　脇　真　希	金・1	工 23	5	A	パソコン（Moodle）使用
54	生化学Ⅰ	黒　澤　信　幸	金・2	工 23	3	A	パソコン（Moodle）使用
55	高分子物性化学	伊　藤　研　策	月・2	工 31	10	C	パソコン（Moodle）使用
56	工業有機化学演習	堀　野　良　和	月・2	工 24	若干名	B	パソコン（Moodle）使用
57	無機材料化学	會　澤　宣　一	月・5	工 24	5	C	パソコン（Moodle）使用
58	有機化学Ⅳ	堀　野　良　和	火・1	工 31	若干名	B	パソコン（Moodle）使用
59	基礎化学工学	劉　　貴　慶	火・2	工 31	5	B	パソコン（Moodle）使用
60	分子構造解析演習	遠　田　浩　司	火・2	工 24	5	C	パソコン（Moodle）使用

学部等名：工学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
61	界面材料工学	伊　藤　研　策	水・2	工32	10	C	パソコン（Moodle）使用
62	微分積分Ⅱ	菅　野　　憲	木・2	工23	10	A	パソコン（Moodle）使用
63	機器分析	遠　田　浩　司	木・2	工24	5	C	パソコン（Moodle）使用
64	分析化学Ⅰ	加賀谷　重　浩	木・3	工23	5	A	パソコン（Moodle）使用
65	反応工学	椿　　範　立	木・3	工24	若干名	B	パソコン（Moodle）使用
66	量子化学	石　山　達　也	木・4	工24	若干名	B	パソコン（Moodle）使用
67	分子固体物性工学	宮　崎　　章	金・1	工12	10	C	パソコン（Moodle）使用
68	有機材料工学	米　山　嘉　治	金・3	工12	5	B	パソコン（Moodle）使用

※備考欄に「パソコン（Moodle）使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：都市デザイン学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	一般地質学	大　藤　　茂	木・5	理 A 424	若干名	A	オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
2	堆積学	佐　野　晋　一	火・4 金・3	理 A 336	若干名	B	パソコン（Moodle）使用 前半（～ 11/27）
3	海洋物理学	田　口　文　明	月・5 金・2	理 A 336	若干名	B	パソコン（Moodle）使用 前半（～ 11/30）
4	火山学	石　崎　泰　男	月・4 金・3	理 A 336	若干名	B	後半（12/4 ～） オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
5	地球内部物理学	渡　邊　　了	月・5 金・2	理 A 336	若干名	B	後半（12/4 ～） オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
6	雪氷学	杉　浦　幸之助	火・2、3	理 A 336	若干名	B	後半（12/1 ～） オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
7	資源環境科学	小　室　光　世	月・2 金・2	理 C 104 理 A 337	若干名	C	パソコン（Moodle）使用 前半（～ 11/30）
8	リモートセンシング学	堀　　雅　裕	火・4 金・1	理 C 104 理 A 337	若干名	B	パソコン（Moodle）使用 前半（～ 11/27）
9	線形代数Ⅱ	布　村　紀　男	木・2	共通 D 21	若干名	A	パソコン（Moodle）使用
10	物理化学Ⅰ	村　田　　聡	木・3	工 21	若干名	A	オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
11	力学	並　木　孝　洋	木・4	工 21	若干名	A	オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
12	微分積分Ⅱ	柴　柳　敏　哉	金・2	共通 D21	若干名	A	オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
13	固体物性工学序論	西　村　克　彦	木・1 金・2	工 27 工 11	若干名	B	前半（～ 11/27） オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
14	結晶構造解析学	佐　伯　　淳	木・3 金・3	工 27 工 11	若干名	A	前半（～ 11/27） オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
15	素形材工学Ⅱ	才　川　清　二	水・2 金・4	工 12 工 36	5	B	前半（～ 11/27） オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
16	金属電子論	並　木　孝　洋	木・2 金・2	工 26 工 36	若干名	C	後半（12/3 ～） オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
17	都市デザイン学総論	中 川　大 ほか	金・1	共通 D12	10	A	オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
18	デザインプレゼンテーション	矢　口　忠　憲	火・4、5	プロジェクト企画・ クリエーション・工11	5	B	後半（12/1 ～） （端末室の授業） オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
19	微分積分Ⅱ	竜　田　尚　希	木・1	共通 A 21	5	A	前半（～ 11/30） オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
20	線形代数Ⅱ	井ノ口　宗　成	木・2	共通 A 21	5	A	前半（～ 11/30） オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
21	データサイエンスⅠ／確率統計	堀　田　裕　弘	金・4	CAD コンピューター室	5	A	後半（12/1 ～） （端末室の授業） オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
22	構造力学の応用と橋梁・耐震	久保田　善　明 鈴　木　康　夫	月・4、5	工 22	5	C	前半（～ 11/30） ※構造力学基礎を受講しているか、構造力学に関する基礎知識を有していることを前提 （端末室の授業） オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
23	測量学及び実習	中 川　大 ほか	水・3 金・3	工 21	若干名	B	前半（～ 11/30） ※実習 （端末室の授業） オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
24	地盤工学の応用と建設施工	原　　隆　史	木・4、5	工 12	5	C	前半（～ 11/30） ※地盤工学基礎を受講しているか、地盤工学に関する基礎知識を有していることを前提 オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
25	応用数学	鈴　木　康　夫	月・3 木・3	工 21 工 12	5	B	後半（12/1 ～） ※微分積分Ⅰ、Ⅱ、線形代数Ⅰ、Ⅱを受講しているか、同等の知識を有していることを前提 オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用

学部等名：都市デザイン学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　　考
26	都市と交通の基礎理論	中　川　　大	火・2、3	工32	5	B	後半（12/1 ～） オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
27	水理・水工学の応用と河川・海岸	木　村　一　郎	水・1、2	工12	5	C	後半（12/1 ～） ※水理・水工学基礎を受講しているか、水理・水工学に関する基礎知識を有していることを前提 オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
28	プログラミング演習	春　木　孝　之	月・4、5 水・4、5	CAD コンピューター室	5	C	後半（12/1 ～） ※実習 （端末室の授業） オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
29	データサイエンスⅡ／多変量解析	堀　田　裕　弘	金・1、2	CAD コンピューター室	5	C	前半（～ 11/30） （端末室の授業） オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
30	都市・交通情報通信	堀　田　裕　弘	月・4、5	工 クリエーション	5	C	後半（12/1 ～） オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
31	鉄軌道と道路	金　山　洋　一 本　田　　豊	木・2、3	実験実習棟	5	B	後半（12/1 ～） パソコン（Moodle）使用

※備考欄に「パソコン（Moodle）使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

○大学院（ハイ・グレード・オープン・クラス（HGOC））

大学院名：大学院人間発達科学研究科

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教室	募集定員	難易度	試聴日	備考
1	教育心理学研究法特論	近　藤　龍　彰	月・1	研究室	若干名	D	10/5	パソコン（Moodle）使用 授業開始前に担当教員に連絡を取り、相談をすることが望ましい
2	スポーツ医学特論演習	布　村　忠　弘	火・2	人発 342	若干名	D	10/5	パソコン（Moodle）使用

※備考欄に「パソコン（Moodle）使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

大学院名：大学院経済学研究科

＊未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より郵送にて案内を差し上げます。もし、試聴日までに連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教室	募集定員	難易度	試聴日	備考
1	東アジアの経済開発特殊研究	金　奉吉	火・2	未定	若干名	D	10/2-8 の授業初回	オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
2	財政学特殊研究	中村和之	月・6	未定	若干名	D	10/2-8 の授業初回	オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
3	政治学特殊研究	青木一益	水・1	未定	若干名	D	10/2-8 の授業初回	オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
4	環境産業論特殊研究	龍　世祥	火・6	未定	若干名	D	10/2-8 の授業初回	オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
5	計量経済学特殊研究	唐渡広志	月・4	未定	若干名	D	10/2-8 の授業初回	オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用
6	管理会計論特殊研究	森口毅彦	火・3	未定	若干名	D	10/2-8 の授業初回	オンライン授業の場合はパソコン（Moodle）使用

※　授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：大学院理工学教育部（理学領域）

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教室	募集定員	難易度	試聴日	備考
1	代数学特論Ｂ	山　根　宏　之	月・2	理B 133	若干名	D	10月5日	パソコン（Moodle）使用
2	幾何学特論Ａ	川　部　達　哉	火・2	理B 133	若干名	D	10月6日	パソコン（Moodle）使用
3	解析学特論Ｃ	藤　田　安　啓	水・2	理B 133	若干名	D	10月7日	パソコン（Moodle）使用
4	応用数理特論Ａ	上　田　肇　一	木・2	理B 133	若干名	D	10月8日	パソコン（Moodle）使用
5	凝縮系物理学Ⅱ	田　山　　孝	火・5	理C 204	若干名	D	10月6日	パソコン（Moodle）使用
6	ナノ粒子物理学	池　本　弘　之	水・2	理C 204	若干名	D	10月7日	パソコン（Moodle）使用
7	放射光物理	畑　田　圭　介	木・4	理C 105	若干名	D	10月8日	パソコン（Moodle）使用
8	量子エレクトロニクスⅠ	榎　本　勝　成	金・2	理C 105	若干名	D	10月2日	パソコン（Moodle）使用
9	分光化学	岩　村　宗　高	火・2	理C 206	若干名	D	10月6日	パソコン（Moodle）使用
10	機能性材料学	萩　原　英　久	水・2	理A 425	若干名	D	10月7日	パソコン（Moodle）使用
11	固体物理化学	田　口　　明	金・1	理C 205	若干名	D	10月2日	パソコン（Moodle）使用
12	エネルギー変換特論	阿　部　孝　之	金・2	理C 205	若干名	D	10月2日	パソコン（Moodle）使用
13	進化遺伝学特論	山　崎　裕　治	水・1	理C 202	若干名	D	10月7日	パソコン（Moodle）使用
14	比較内分泌学特論	今　野　紀　文	水・2 金・2	理C 206	若干名	D	10月7日	パソコン（Moodle）使用 前半（～11/27）
15	生体機能調節学特論	若　杉　達　也	水・2 金・2	理C 206	若干名	D	12月2日	パソコン（Moodle）使用 後半（12/2～）
16	動物病態生理学特論	中　町　智　哉	木・2	理C 203	若干名	D	10月8日	パソコン（Moodle）使用
17	鉱床学特論	小　室　光　世	火・2	理C 205	若干名	D	10月6日	パソコン（Moodle）使用
18	気象学特論	安　永　数　明	木・2	理C 205	若干名	D	10月8日	パソコン（Moodle）使用
19	雪氷学特論	島　田　　亙	金・3	理C 202	若干名	D	10月2日	パソコン（Moodle）使用
20	微生物生態学特論	田　中　大　祐	月・2	理C 204	若干名	D	10月5日	パソコン（Moodle）使用
21	同位体地球化学特論	堀　川　恵　司	月・3	理C 204	若干名	D	10月5日	パソコン（Moodle）使用
22	植物生態学特論	和　田　直　也	火・2	理C 204	若干名	D	10月6日	パソコン（Moodle）使用
23	進化生態学特論	石　井　　博	木・3	理C 204	若干名	D	10月8日	パソコン（Moodle）使用
24	環境無機反応論	堀　川　恵　司	金・2	理C 204	若干名	D	10月2日	パソコン（Moodle）使用

※備考欄に「パソコン（Moodle）使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

大学院名：大学院理工学教育部（工学領域）

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	試聴日	備考
1	システム制御工学特論２	戸田 英樹	月・3	工22	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用
2	電子物性工学特論第１	前澤 宏一	火・1	工23	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用
3	電子デバイス工学特論第２	中 茂樹	火・2	工28	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用
4	エネルギー変換工学特論第２	大路 貴久	水・1	工23	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用
5	波動通信工学特論第２	藤井 雅文	水・2	工23	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用
6	神経情報工学特論	田端 俊英	月・2	エイノベ2	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用
7	シミュレーション工学特論第２	春木 孝之	月・3	エイノベ2	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用
8	通信方式特論第１	菊島 浩二	月・4	工23	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用
9	システム工学特論第２	参沢 匡将	火・2	エイノベ2	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用
10	シミュレーション工学特論第１	佐藤 雅弘	火・4	工12	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用
11	メディア情報通信特論	堀田 裕弘	水・2	エイノベ2	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用
12	通信方式特論第２	角畠 浩	木・2	エイノベ2	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用
13	医用情報計測学特論	長谷川 英之	木・3	工36	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用
14	流体工学特論	渡邊 大輔	月・2	エイノベ3	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用
15	構造設計特論	増田 健一	火・1	工21	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用
16	制御機器特論	神代 充	火・2	工33	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用
17	要素設計工学特論	小熊 規泰	火・3	工21	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用
18	ナノ機械システム特論	ﾀﾁｱﾅ ﾆｺﾗｴｳﾅ ｿﾛﾂｷﾋﾅ	水・1	エイノベ3	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用
19	計測システム特論	笹木 亮	水・2	エイノベ4	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用
20	自律システム工学特論	保田 俊行	木・2	エイノベ3	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用
21	塑性加工工学特論	白鳥 智美	木・3	エイノベ2	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用
22	ロボティクス特論	関本 昌紘	金・1	工第1端末室	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用（端末室の授業）
23	塑性力学特論	溝部 浩志郎	金・3	工22	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用（端末室の授業）
24	放射線生物工学特論	黒澤 信幸	月・5	大学院棟第２演習室	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用
25	神経システム特論	川原 茂敬	火・5	大学院棟第２演習室	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用
26	環境分析化学特論	加賀谷 重浩	月・1	エイノベ4	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用
27	有機工業化学特論	米山 嘉治	月・2	応用化学セミナー室	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用
28	計算分子科学特論	石山 達也	月・5	エイノベ4	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用
29	創薬工学特論	阿部 仁	木・1	エイノベ5	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用
30	分子固体物性特論	宮崎 章	木・2	エイノベ5	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用

大学院名：大学院理工学教育部（工学領域）

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教室	募集定員	難易度	試聴日	備考
31	界面分析化学特論	源　明　　誠	金・1	エイノベ5	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用
32	素形制御工学特論	才　川　清　二	月・2	エイノベ5	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用
33	計算材料工学特論	布　村　紀　男	火・1	エイノベ5 工第1端末室	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用 （端末室の授業）
34	機能制御工学特論	佐　伯　　淳	木・1	エイノベ1	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用
35	鉄鋼材料工学特論	小　野　英　樹	木・2	エイノベ1	若干名	D	講義初回	パソコン（Moodle）使用

※備考欄に「パソコン（Moodle）使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

高岡キャンパス



芸術文化学部

- A A 棟
- B1 B1 棟
- B2 B2 棟
- C C 棟
- D D 棟
- E E 棟
- F F 棟 [芸術文化図書館]
- G G 棟 [アリーナ]
- H H 棟 レストラン・売店（講堂）

<高岡キャンパス受講生窓口>

富山大学　芸術文化学部総務課　総務・研究協力チーム
〒933-8588　富山県高岡市二上町180
TEL 0766-25-9138　FAX　0766-25-9104
月曜日から金曜日の8：30から17:15まで受け付けています。（祝日を除く）

Ⅰ　実　施　形　態

（公開授業科目）

1　公開する授業科目は、「オープン・クラス授業科目一覧」（P30・31 参照）に記載のとおりです。

オープン・クラス授業科目一覧中の難易度は、授業の内容に応じて、次の四段階に区分していますので、参考にしてください。

難易度の目安

A　入門的な内容であり、高等学校卒業程度の学力を必要とするもの（大学１年次生対象の授業）

B　より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの（大学２～３年次生対象の授業）

C　高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの（大学３～４年次生対象の授業）

D　高度の専門性を要する内容であり、大学卒業程度の学力を必要とするもの（大学院生対象（ハイ・グレード・オープン・クラス（HGOC））※の授業）

授業内容の紹介（シラバス）は、本学ホームページの「Ｗｅｂシラバス（授業案内）」（http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/）に掲載されておりますのでご覧ください（トップページから「キャンパスライフ」あるいは「在学生・教職員」のメニューをクリックしてください）。高岡キャンパス受講生窓口においてもシラバスの閲覧ができます。

また、授業はあくまでも本学の学生を対象にしたものであり、受講生のために特別開設されたものではないことを予めご了承ください。

※ハイ・グレード・オープン・クラス（ＨＧＯＣ）について

内容的にも、より高度で専門的な本学の授業科目を受講してみたいという方のニーズに応えるため、大学院（修士又は博士前期課程）の授業科目を、ハイ・グレード・オープン・クラス（HGOC）として引き続き公開します。あらためて大学で、より高度で専門的な内容を学びたい（あるいは「学び直し」したい）とお考えの方は、是非受講してみてください。

受講手続や受講料は、学部の教養教育や専門科目との違いはありません。

（募集定員）

2　募集定員は、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載のとおりです。

「オープン･クラス授業科目一覧」に記載の募集定員を超えた場合や学生の受講数が多かった場合には受講できないことがあります。

また、学生の履修者がいなかった場合は、オープン･クラスとしても開講されませんので、予めご了承ください。

（開講期間）

3　**令和２年 10 月２日（金）～令和３年１月 29 日（金）**

（一部、開講期間が異なる科目があります。その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。）

授業日程については、予め決まっている休講日及び曜日を変更して実施する授業等があります。詳細は、必ず、表紙裏の「令和２年度後学期授業日程」でご確認ください。

（試聴授業）

4　試聴期間中の初回の授業は試聴授業として扱います。

（修了証書）

5　オープン・クラスの受講生には、単位認定を行いませんので、予めご了承願ください。また、学期末の試験等は課しません。

全授業回数の 2/3 以上受講された方には、修了証書を発行いたします。修了証書を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

（県民カレッジの単位認定）

6　オープン・クラスは、県民カレッジ（富山県民生涯学習カレッジ）との連携講座です。全授業回数の 2/3 以上受講された方には、希望により、時間数に応じて（１時間を１単位とし、５単位刻みで認定）県民カレッジの単位が認定されます。単位認定を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

Ⅱ　受　講　手　続

（受講希望調書受付期間）

1　**令和２年９月１日（火）～９月 11 日（金）**

受付期間終了後の受付はできません。受付期間をご確認の上、遅れることのないよう提出してください。

（受講希望調書の提出）

2　本要項の巻末に添付してある「受講希望調書」に必要事項を記入のうえ、下記高岡キャンパス受講生窓口に持参、あるいは郵送、FAX、E メールのいずれかでお申し込みください。持参・郵送・FAX・E メールともに、受付期間最終日必着とします。

ただし、E メールでお申し込みされる場合は、①郵便番号・住所、②氏名（フリガナ）、③電話番号、④性別、⑤年齢、⑥学部名等、⑦番号・授業科目、⑧担当教員、⑨授業曜日・時限、⑩授業でのパソコン使用の有無を記入のうえ、必ずメールの題名（Subject）に「オープン・クラス（授業科目名）受講希望」と書いて送信してください。添付ファイルでのお申し込みはご遠慮ください。

富山大学　芸術文化学部総務課　総務・研究協力チーム
〒 933-8588　富山県高岡市二上町 180
TEL：0766-25-9138　FAX：0766-25-9104
E メール　shougai@adm.u-toyama.ac.jp
月曜日から金曜日の 8:30 から 17:15 まで受付けています。（祝日を除く）

3「受講希望調書」を提出された方には、「受講届」用紙及び「試聴証」をお渡しします。この試聴証は、試聴時にお付けいただきますので、紛失されないようにご注意ください。

（受講の試聴日）

4　受講生が、授業の概要を確認し、受講する科目を決定していただくため、「試聴日」を設けます。試聴日は「オープン・クラス授業科目一覧」に記載してあります。試聴日終了までに受講科目を確定していただき、受講科目の登録を行ってください。試聴日以降に受講科目を追加・変更することはできません。

また、授業担当教員の都合により休講となる場合もありますので、掲示にご注意ください。

（受講科目の登録）

5　受講する科目を決められた方は、「受講届」に授業科目名等を記入し、**試聴日に授業担当教員に提示し、確認のサイン等を受け、高岡キャンパス受講生窓口にご提出ください。**

高岡キャンパス受講生窓口では、「受講届」を確認のうえ、受講登録を行います。

受講登録の際に必要となる書類等は次のとおりです。

・受講届
・受講料
・運転免許証、保険証等の身分を証明できる書類等

なお、登録手続は試聴期間中に完了していただくようお願いいたします。

授業に関する疑問・質問等がある場合は、確認のサイン等を受ける前に担当教員に照会してください。

（受講料の納付等）

6　受講登録時に、高岡キャンパス受講生窓口で受講料を納付してください。受講料は本学が定める公開授業受講料により徴収させていただきます。

１授業科目　　9,400 円 （税込）（大学院（ＨＧＯＣ）も受講料は同額です。）

（一部、受講料が異なる科目があります。その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄をご参照ください。）

なお、いったん納入された受講料は、理由のいかんを問わず返還できませんので、予めご了承ください。

受講生が授業で使用するテキスト代及び授業に係るその他の費用（材料費等）は、受講生の負担となります。シラバス及び担当教員の指示に従って、ご自身でご用意ください。テキストは富山大学生協で取り扱っています。

（受講証の交付）

7　受講料を納付された方には受講証をお渡ししますので、キャンパス内では必ず着用ください。

Ⅲ　受講に際して

（受講生の義務）

1　受講生は、受講に当たり本学が行う教育及び研究に支障をきたさないよう努めていただくとともに、授業担当教員の指示に従ってください。また、本学構内で勧誘行為等を行うことを禁止いたします。

（受講の停止）

2　受講生が義務に違反し、本学の秩序を乱し、または受講生としてふさわしくない言動があった場合、受講を停止することがあります。

なお、受講停止の場合であっても、既納の受講料は返還できません。

（休・補講、教室変更について）

3　これらの連絡は学務チーム掲示板（Ａ棟１階　学務チーム入り口前）で行います。受講開始後でも、教室等について変更する場合がありますのでご注意ください。

また、**携帯電話やパソコンからも授業の掲示情報を確認できます。詳細は、本要項の最終ページ（裏表紙の裏）をご参照ください。**

（受講生の呼び出し等）

4　授業中その他、受講生への連絡や呼び出しには応じかねますので、予めご了承ください。また、授業中は、携帯電話の電源をお切りください。

（図書館の利用）

5　附属図書館は市民一般に開放しています。資料の貸出を希望される場合には、附属図書館のカウンターにて利用手続きを行ってください。

（福利厚生施設の利用）

6　受講生は、売店、食堂等の施設を利用することができます。

（損害賠償）

7　受講生が本学の施設、設備等を破損したときは、届け出てください。その損害を賠償していただくことがあります。

（保険制度）

8　授業内容により、一部保険加入が必須となる科目がありますのでご注意願います。加入手続きは、高岡キャンパス受講生窓口で行ってください。

（通学方法）

9　キャンパスには駐車場がありますが、事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、予めご了承ください。

Ⅳ　その他

1　「オープン・クラス」に関する授業内容等については、下記においてもお問い合わせできます。

○芸術文化学部総務課　総務・研究協力チーム　　TEL 0766-25-9138

2　授業科目の授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので予めご了承ください。授業開始前には、毎回学務チーム掲示板をご覧ください。

3　受講に際しご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、教員への情報提供及び県民カレッジの単位申請にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

4　【新型コロナウイルス対策】

・教室入口等に設置してあるアルコール消毒液をご使用ください。

・感染防止のためのマスクの着用をお願いします。

・発熱や体調不良の場合は欠席のご配慮をお願いします。

オープン・クラス授業科目一覧

○専門科目

学部等名：芸術文化学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業日 ・時	教　室	募集定員	難易度	試聴日	備　考
1	構造力学２	大　氏　正　嗣	月・1、2	B-212	2	C	10月５日	前半（～ 11/30） 構造力学における静定構造の十分な理解ができていること 遠隔授業の場合は Zoom を使用。試験は対面で行う。
2	風景資源論 A	奥　　敬　一	金・4、5	B-212	若干名	B	10月２日	前半（～ 11/27） 遠隔授業の場合は Zoom 及びパソコン（Moodle）を使用。
3	日本・東洋美術史演習	三　宮　千　佳	月・4、5	B-116	若干名	B	10月５日	前半（～ 11/30） 遠隔授業の場合は Zoom 及びパソコン（Moodle）を使用。
4	東洋美術史	三　宮　千　佳	水・1、2	B-212	若干名	A	10月７日	前半（～ 11/25） 遠隔授業の場合は Zoom 及びパソコン（Moodle）を使用。
5	工芸実習（金工）D	清　水　克　朗	火・1、2 金・1、2	D-135 D-142	1	C	10月2日	前半（～ 11/27）14,500 円 「工芸実習（金工）C」を受講していることが望ましい。もしくはなるべく早い段階で事前に面談を行なう。作業服・材料費が別途必要。要：傷害保険加入。遠隔授業となった場合、時期をずらして対応。
6	材料の科学 （金属材料学）	長　柄　毅　一	火・1、2	B-116	若干名	A	12月１日	「素材と技術」を受講していることが望ましい 遠隔授業の場合は Zoom を使用。
7	アート・マネジメント概論	松　田　　愛	火・4、5	B-116	若干名	A	10月６日	前半（～ 11/24） 新型コロナの状況によってはオンラインでの開講となる可能性があります。 遠隔授業の場合は Zoom 及びパソコン（Moodle）を使用。
8	近・現代建築意匠	松　政　貞　治	水・1、2	B-210	3	B	10月７日	前半（～ 11/25） 遠隔授業の場合は Zoom を使用。
9	建築と文化	松　政　貞　治	木・4	B-116	3	A	10月８日・ 10月15日	遠隔授業の場合は Zoom を使用。
10	建築論	松　政　貞　治	金・1、2	B-210	3	C	10月２日	前半（～ 11/27） 遠隔授業の場合は Zoom を使用。
11	文化政策概論	安　嶋　是　晴	金・1、2	B-213	2	A	12月４日	毎回グループワークを実施するため、すべての講義に出席し、毎回の事前課題を実施する必要があります。 遠隔授業の場合は Zoom を使用。
12	建築とリサイクル	籔　谷　祐　介	水・1、2	B-116	若干名	C	12月２日	遠隔授業の場合は Zoom 及びパソコン（Moodle）を使用。
13	建築計画	籔　谷　祐　介	金・1、2	B-117	5	B	12月４日	遠隔授業の場合は Zoom 及びパソコン（Moodle）を使用。
14	特別演習（地域言語文化演習Ⅱ（中国語））	山　田　眞　一	火・2	B-211	若干名	C	10月６日・ 10月13日	ピンインがついていない中国語が読めること 遠隔授業の場合は Zoom 及びパソコン（Moodle）を使用。
15	デザイン概論	内　田　和　美 岡　本　知　久 渡　邉　雅　志	木・1、2	B-116	10	A	10月８日	前半（～ 11/26） デザインの基礎を学びたい人向け 遠隔授業の場合は Zoom 及びパソコン（Moodle）を使用。
16	芸文基礎演習 D	河　原　雅　典 今　淵　純　子	木・1、3	B-213	4	A	10月８日・ 10月15日	前半（～ 1/28）２クラス開講につき、１クラスあたり２名の受入れ。 要：傷害保険加入。 遠隔授業の場合は Zoom を使用。
17	工芸技法・材料	高　橋　誠　一 清　水　克　朗 内　藤　裕　孝	火・4、5	B-212	5	A	10月６日	前半（～ 11/24） 遠隔授業の場合は Zoom を使用。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

○大学院（ハイ・グレード・オープン・クラス（HGOC））

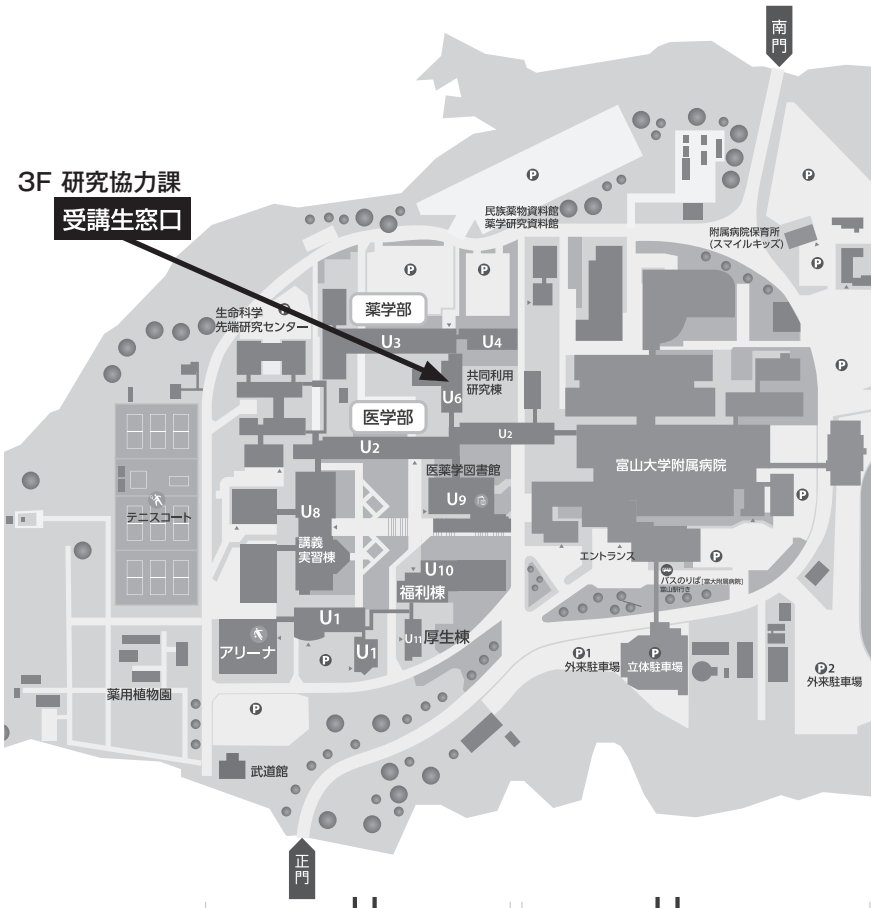
学部名：大学院芸術文化学研究科

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業日 ・時	教　室	募集定員	難易度	試聴日	備　考
1	構造設計特論	大　氏　正　嗣	金・3	C-341	1	D	10/2・10/9	遠隔授業の場合は Zoom を使用。ただし、資料等の受け渡しは一部対面。
2	建築計画特論	籔　谷　祐　介	月・3	C-341	若干名	D	10/5・10/12	遠隔授業の場合は Zoom 及びパソコン（Moodle）を使用。

（注 1）　当該授業科目受講のためには，開講時以前の全必修科目を修得しているのと同程度の学力を有することが必要です。受講を決める前に，必ず当該授業科目担当教員とよく相談してください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

杉谷キャンパス



医学部

- U1 看護学科研究棟
- U2 医学部研究棟

薬学部

- U3 薬学部研究棟

- U6 共同利用研究棟
- U8 講義実習棟
- U9 医薬学図書館
- U10 福利棟
- U11 厚生棟

<杉谷キャンパス受講生窓口>

富山大学　医薬系事務部　研究協力課

〒 930-0194　富山市杉谷 2630

TEL　076－434－7143　FAX　076－434－4656

月曜日から金曜日の 8：30 から 17：15 まで受け付けています。（祝日を除く）

Ⅰ　実　施　形　態

（公開授業科目）

1　公開する授業科目は、「オープン・クラス授業科目一覧」（P38 参照）に記載のとおりです。

オープン・クラス授業科目一覧中の難易度は、授業の内容に応じて、次の四段階に区分していますので、参考にしてください。

難易度のめやす

A　入門的な内容であり、高等学校卒業程度の学力を必要とするもの（大学１年次生対象の授業）

B　より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの（大学２～３年次生対象の授業）

C　高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの（大学３～４年次生対象の授業）

D　高度の専門性を要する内容であり、大学卒業程度の学力を必要とするもの（大学院生対象（ハイ・グレード・オープン・クラス（ＨＧＯＣ））※の授業）

授業内容の紹介（シラバス）は、本学ホームページの「Web シラバス（授業案内）」（http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/）に掲載されておりますのでご覧ください（トップページから「キャンパスライフ」あるいは「在学生・教職員」のメニューをクリックしてください）。杉谷キャンパス受講生窓口においてもシラバスの閲覧ができます。

また、授業はあくまでも本学の学生を対象にしたものであり、受講生のために特別開設されたものではないことを予めご了承ください。

※ハイ・グレード・オープン・クラス（ＨＧＯＣ）について

内容的にも、より高度で専門的な本学の授業科目を受講してみたいという方のニーズに応えるため、大学院（修士又は博士前期課程）の授業科目を、ハイ・グレード・オープン・クラス（HGOC）として引き続き公開します。あらためて大学で、より高度で専門的な内容を学びたい（あるいは「学び直し」したい）とお考えの方は、是非受講してみてください。

受講手続や受講料は、学部の教養教育や専門科目との違いはありません。

（募集定員）

2　募集定員は、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載のとおりです。

「オープン･クラス授業科目一覧」に記載の募集定員を超えた場合や学生の受講数が多かった場合には受講できないことがあります。

また、学生の履修者がいなかった場合は、オープン･クラスとしても開講されませんので、予めご了承ください。

（開講期間）

3　**令和２年 10 月２日（金）～令和３年１月 29 日（金）**です。

授業日程については、予め決まっている休講日及び曜日を変更して実施する授業等があります。詳細は、必ず、表紙裏の令和２年度後学期授業日程でご確認ください。

（試聴授業）

4　「オープン・クラス授業科目一覧」に記載する試聴日の授業は、試聴授業として扱います。

（修了証書）

5　オープン・クラスの受講生には、単位認定を行いませんので、予めご了承ください。また、

学期末の試験等は課しません。
全授業回数の 2/3 以上受講された方には、修了証書を発行いたします。修了証書を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

(県民カレッジの単位認定)

6　オープン・クラスは、県民カレッジ（富山県民生涯学習カレッジ）との連携講座です。全授業回数の 2/3 以上受講された方には、希望により、時間数に応じて（１時間を１単位とし、５単位刻みで認定）県民カレッジの単位が認定されます。単位認定を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

Ⅱ　受　講　手　続

(受講希望調書受付期間)

1　**令和２年９月１日（火）～９月 11 日（金）**

受付期間終了後の受付はできません。受付期間をご確認の上、遅れることのないよう提出してください。

(受講希望調書の提出)

2　本要項の巻末に添付してある「受講希望調書」に必要事項を記入のうえ、下記杉谷キャンパス受講生窓口に持参、あるいは郵送、FAX、E メールのいずれかでお申し込みください。持参・郵送・FAX・E メールともに、受付期間最終日必着とします。

ただし、E メールでお申し込みされる場合は、①郵便番号・住所、②氏名（フリガナ）、③電話番号、④性別、⑤年齢、⑥学部名等、⑦番号・授業科目、⑧担当教員、⑨授業曜日・時限、⑩授業でのパソコン使用の有無を記入のうえ、必ずメールの題名（Subject）に「オープン・クラス（授業科目名）受講希望」と書いて送信してください。添付ファイルでのお申し込みはご遠慮ください。

富山大学　医薬系事務部　研究協力課
〒 930-0194　富山市杉谷 2630
TEL　076 － 434 － 7143　FAX　076 － 434 － 4656
E メール　kenkyo@adm.u-toyama.ac.jp
月曜日から金曜日の８：30 から 17:15 まで受け付けています。（祝日を除く）

3　「受講希望調書」を提出された方には、「受講届」の用紙及び「リボン」をお渡しします。このリボンは、試聴時に付けていただきますので、紛失されないようご注意ください。

(受講の試聴日)

4　受講生が、授業の概要を確認し、受講する科目を決定していただくため、「試聴日」を設けます。試聴日は「オープン・クラス授業科目一覧」に記載してあります。試聴日終了までに受講科目を確定していただき、受講科目の登録を行ってください。試聴日以降に受講科目を追加・変更することはできません。

また、授業担当教員の都合により休講となる場合もありますので、掲示にご注意ください。

（受講科目の登録）

5　受講する科目を決められた方は、「受講届」に授業科目名等を記入し、**試聴日に授業担当教員に提示し、確認のサイン等を受け、杉谷キャンパス受講生窓口にご提出ください。**

杉谷キャンパス受講生窓口で、「受講届」を確認の上、受講登録を行います。

受講登録の際に必要となる書類等は次のとおりです。

・受講届
・受講料
・運転免許証、保険証等の身分を証明できる書類等

なお、登録手続は試聴日に完了していただくようお願いいたします。

授業に関する疑問・質問等がある場合は、確認のサイン等を受ける前に担当教員に照会してください。

（受講料の納付等）

6　受講登録時に、杉谷キャンパス受講生窓口で受講料を納付してください。受講料は本学が定める公開授業受講料により徴収させていただきます。

１授業科目　　9,400 円 （税込）（大学院（ＨＧＯＣ）も受講料は同額です。）

（一部、受講料が異なる科目があります。その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。）

なお、いったん納入された受講料は、理由のいかんを問わず返還できませんので、予めご了承ください。

受講生が授業で使用するテキスト代及び授業に係るその他費用は、受講生の負担となります。シラバス及び担当教員の指示に従って、ご自身でご用意ください。テキストは富山大学生協で取り扱っています。

（受講証の交付）

7　受講料を納付された方には受講証をお渡ししますので、来学の際は携帯されるようお願いします。複数の授業科目を受講する場合でも、受講証は１枚のみの発行となります。

Ⅲ　受講に際して

（受講生の義務）

1　受講生は、受講に当たり本学が行う教育及び研究に支障をきたさないよう努めていただくとともに、授業担当教員の指示に従ってください。また、本学構内で勧誘行為等を行うことを禁止いたします。

（受講の停止）

2　受講生が義務に違反し、本学の秩序を乱し、または受講生としてふさわしくない言動があった場合、受講を停止することがあります。

なお、受講停止の場合であっても、既納の受講料は返還できません。

（休・補講、教室変更について）

3　これらの連絡は教員の指示や各学部等掲示板で行います。受講開始後でも、教室等について変更する場合がありますのでご注意ください。

また、**携帯電話やパソコンからも授業の掲示情報を確認できます。詳細は、本要項の最終ページ（裏表紙の裏）をご参照ください。**

（受講生の呼び出し等）

4　授業中その他、受講生への連絡や呼び出しには応じかねますので、予めご了承ください。また、授業中は、携帯電話の電源をお切りください。

（図書館の利用）

5　附属図書館は市民一般に開放しています。資料の貸出を希望される場合には、附属図書館のカウンターにて利用手続きを行ってください。

（福利厚生施設の利用）

6　受講生は、売店、食堂等の施設を利用することができます。

（損害賠償）

7　受講生が本学の施設、設備等を破損したときは、届け出てください。その損害を賠償していただくことがあります。

（保険制度）

8　授業内容により、一部保険加入が必須となる科目がありますのでご注意ください。加入手続きは、杉谷キャンパス受講生窓口で行ってください。

（通学方法）

9　キャンパスは駐車スペースが少ないので、公共交通機関等をご利用ください。なお、杉谷キャンパスの駐車場は有料となっております。

自家用車でのトラブルや事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、予めご了承ください。

Ⅳ　そ　の　他

1　「オープン・クラス」に関する授業内容等については、下記においてもお問い合わせできます。

○医薬系学務課　学部教務チーム　　TEL 076-434-7131

2　授業科目の授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、予めご了承ください。授業開始前には、毎回各学部の掲示板をご覧ください。

3　受講に際しご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、教員への情報提供及び県民カレッジの単位申請にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

4　【新型コロナウイルス対策】

・教室入口等に設置してあるアルコール消毒液をご使用ください。
・感染防止のためのマスクの着用をお願いします。
・発熱や体調不良の場合は欠席のご配慮をお願いします。

オープン・クラス授業科目一覧

○大学院（ハイ・グレード・オープン・クラス（HGOC））

学部等名：大学院医学薬学教育部（薬学領域）

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	試聴日	備　考
1	分子生理学特論	酒井　秀紀 清水　貴浩	水・２	薬学部研究棟Ⅱ セミナー室8	若干名	D	10/7	7,300円

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

令和２年　　月　　日

令和２年度後学期
富山大学オープン・クラス（公開授業）
受講希望調書

住　　所	〒		
フリガナ 氏　　名		年　齢	性　別
電　　話 （携帯電話）			
e-mail			
生涯学習メールマガジンの配信を希望　　する　・　しない　　該当する方に○を付けてください。			

（切り取り線）

富山大学オープン・クラス（公開授業）として、下記授業科目の受講を希望します。

記

学 部 名 等		
授 業 科 目	番　号 （　　）	
担 当 教 員		
授業曜日・時限	曜日　　限	
端末室の授業	（該当する方に○を付けてください）　　有　・　無	

※　本調書は、１授業科目ごとに１枚とし、**９月１日（火）から９月11日（金）まで**に各キャンパス受講生窓口に提出してください。郵送、FAX、Ｅメールも受け付けます。複数の授業科目の受講を希望される方は、本用紙を複写してご使用ください。なお、募集定員を超えた場合には、受講できない場合があります。

※　オープン・クラスの受講生には単位認定を行いませんので、予めご了承ください。

※　ご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、教員への情報提供及び県民カレッジの単位申請にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

※　新型コロナウイルス感染症の状況によりましては、パソコン（Moodle）を使用します。別途手続きが必要となります。

オープン・クラス受講生の方へ

携帯電話・パソコンで授業の掲示情報が確認できます。

授業の休講・補講の情報や緊急情報を、携帯電話やパソコンから確認することができます。

掲示情報（携帯・パソコン共通）のＵＲＬは、下記のとおりです。

http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/keitai_info/

ＱＲコードに対応する携帯電話をお持ちの方は、
左のＱＲコードからアクセスできます。

＜留意事項＞

＊本サイトの情報はあくまでも補足的なものです。必ず、学内掲示板をご確認ください。なお、学内掲示板と掲載内容が異なる場合は、学内掲示板の内容が優先します。

＊掲示の内容は 10 分毎に最新の掲示情報に更新されます。

＊台風や地震などによる全学一斉の休講通知のような、速報性の高い情報は緊急情報から確認できます。

表紙作品



『PETER&MOSS』(Let's go to play)
ピーター&モス

「経験したこと、見たもの、聞いたこと、
などからキャラクターを生み出しています。

また、大切な人や、周りの人たちと関わっていくうちに、
この人は宇宙から来た人かな? 魔物だろうか? とよく考えます。

それらを一つ、一つ、大切に絵の中に閉じ込めて行くと、
大きな一つの物語が出来上がりますね。
儚い人生の中に、物語は悠久です。」

中原ちひろ

1990　京都生まれ
2012　富山大学芸術文化学部 卒業
2014　富山大学芸術文化学研究科 修了
2015　"Chuan Cheng Art Center" 個展(台北)
　　"中原ちひろ" 画集出版
2016　京都文化博物館 "琳派400年記念新鋭選抜展"大賞
2019　Art Central 個展(香港)
　　中国美術学院にて個展(杭州) など

国立大学法人
富山大学
地域連携推進機構　生涯学習部門
〒930-8555　富山県富山市五福3190
Tel. 076-445-6956　Fax. 076-445-6033　E-mail : lifelong@ctg.u-toyama.ac.jp
URL : http://www.life.u-toyama.ac.jp/

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。